

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	新田 優樹 ( につた ゆうき )
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学部人間情報科学科 4 年
発表年月 または事業開催年月	2026 年 3 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 50 回 社会言語科学会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	新田優樹、関根和生
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	ジェスチャーが時間表現の理解に与える影響について
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>人は時間を表す際に空間メタファーを用いることが知られている。また、時間表現にはしばしばジェスチャーが伴うことが報告されている。本報告では、「次の水曜日の会議は、2 日、前倒し/後ろ倒しされました。その会議は何曜日になったのでしょうか?」という 2 種類の発話表現に前方/後方/なしの 3 種類のジェスチャーを組み合わせた 6 種類の刺激動画のうち 1 種類をランダムに参加者に提示し、月曜日と回答するのか金曜日と回答をするのかを調査した。</p> <p>その結果、ジェスチャーなしの前倒しだと月曜日が 100%、後ろ倒しだと金曜日が 78%であることがわかった。そして、前倒しに前方ジェスチャーが加わることによって月曜日の回答は 100%から 90%に減少した。また、後ろ倒しに後方ジェスチャーが加わると金曜日の回答が 78%から 95%に増加することがわかった。しかし、時間表現の影響が強く、ジェスチャーの影響は限定的である傾向が示された。</p>	

※無断転載禁止